

令和5年9月14日(木)

広南小学校 研究だより ②

2学期がスタートし、2週間が経とうとしています。学校行事に、研究授業にと充実した2学期になりそうですね。さて、10月に行われる、3年生の授業研究の指導案検討を行いました。

令和5年10月2日(月) 第3学年

【主題名】 みんなの使う物

【内容項目】 C-11「規則の尊重」

【教材名】 「黄色いかさ」 【出典】 東京書籍



【授業者より】

- ・物を大切にすることは、相手や周りの人を大切にすることであり、それにより気持ちよく集団生活がおくれることや、自分たちも明るく楽しく生活しやすくなることに気付かせていきたい。

【協議より】

- ・児童の実態に合った教材であり、子ども達が自分の生活を見つめなおすことができるとう良い。そのために、他の教育活動と結びつけながら単元をつくり、一つ一つの活動について振り返りながら意識が続くようにしたい。

<導入>

- ・みんなが使うものにはどんな「もの」がありますか、をどんな「ルール」がありますかと広げた方が良いのではないかと。
- ・みんなで使うものを実際に自分たちが大切にできていない場面を見せる、ことで自分事として考えられるだろう。

<発問>

- ・基本発問で、傘をかりることができて「助かった」「ありがたかった」気持ち、お母さんに返すように言われても返さないでいたときの「まあ、一人くらい、いいや」「面倒くさい」という気持ちにしっかり共感させることが大切である。
- ・基本発問①で、誰でもがかさを使って良いように、設置した人の気持ちを考えさせるとよいのではないかと。
- ・基本発問②で、「返さないといけないと分かっているながら、なぜできないのだろう?」と分かっているてもできない自分の弱さに共感させたり、それはなぜなのか考えさせたりするとよい。

<中心発問>

- ・今の中心発問に加えて、かさを借りることができなかつたおばあさんの立場になって考えさせても良いのではないだろうか。

<振り返り>

- ・ここでしっかりと時間をとり、自分の生活をじっくり考えるようにするとよい。

<まとめ>

- ・今まで知らなかつた価値に気づき、それがまとめになるとよい。